④共同追究前半（解法の比較検討）

「どのやり方でも言えることはなんだろう？」

→「どのやり方で求めても，面積は，三角形がぴったり入る長方形の面積の半分になっている。」

③個人追究：直角三角形に分けたり，同じ形に着目したりして，面積を求め、求め方を説明する。

④共同追究後半（思考を深める）

「どこの長さがわかれば，三角形の面積を求めることができるのかな？」

→「長方形の面積の半分だから，長方形の縦と横にあたる部分の長さがわかるとよい。」

「縦の長さは，直角三角形に分けたときに見つかる長さだ。」

②学習課題：図の中にある直角三角形を利用したり，長方形に変形したりして，三角形の面積を求めよう。

②見通し：直角三角形ではないので，求められない。

→直角三角形に分けたり長方形に変形させたりすればよい。

①本時を構想する上でポイントとなる素地

○問題解決のための知識・技能

・直角三角形の面積は，長方形の面積の半分になることを理解している。

○既習とつなぐ見方・考え方

・2年「形づくり」で，方眼紙を使い図形を組み合わせたり，分割したりして，長方形や直角三角形をつくる学習をしている。

教材研究ノート№5-B-7

⑤まとめ（児童生徒の言葉で）

・直角三角形でない三角形の面積も，直角三角形と同じように，長方形の半分になる。

・長方形の面積の公式をもとにして，三角形の面積を求める公式は，底辺×高さ÷2で表される。

⑥定着･活用問題

・底辺の長さが6㎝，面積が9㎝２の三角形の，高さは何㎝かな。

・方眼を利用して，面積が6㎝２になる三角形をかこう。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |

≪学習問題≫

右の三角形の面積の求め方を

考えよう。

≪定着・活用問題≫

授業計画･実施記録

主眼

≪学習問題≫

＜本時の展開に当たっての留意点＞

・単位面積の正方形で求める子どももいるが，授業で取り上げた場合は，既習の図形に帰着するという考え方は共通であることを位置付けたい。

・三角形の面積を求める公式につなげるために，長方形の面積の半分になっているということが，図から見えるようにしたい。

・既習内容の定着状況から2時間扱いとすることも必要である。